



ロータリー：
変化をもたらす

国際ロータリー2590地区

KAWASAKI ASAO ROTARY CLUB

川崎麻生ロータリークラブ

会長 森 茂則

幹事 森 啓伊



大矢 紀

第1233回 例会記録 平成30年5月11日(金) S.A.A 蓬田 忠 委員長

- 【点 鐘】 森 茂則 会長
 【例会場】 ホテルモリノ
 【S. A. A.】 鈴木 憲治 会員
 【ソング】 国歌『君が代』 ロータリーソング『奉仕の理想』
 【ゲスト・ビジター紹介】 森 茂則 会長

- ◆医療法人社団総生会 地域医療支援部
 部長 佐々木英也様 ◆スタッフ 田所様
 ◆川崎百合丘 RC 坂井規久子様
 ◆米山奨学生 モハマド・ミカル君



〈左〉奨学金を受けるモハマド・ミカル君

【今月の誕生日】 志村 幸男 親睦委員長

〈会員〉 森茂則会員 (9 日)、

山下俊也会員 (17 日)・鈴木豊成会員 (17 日)

〈会員夫人〉 鈴木陽子様(20 日・鈴木豊成会員夫人)

蓬田文香様(27 日・蓬田忠会員夫人)

〈代表で蓬田会員のコメント〉

今月は家内の誕生日であることを忘れていました。これからも出来るだけ仲良く暮らしていきたいと思っています。
 昨日手術一年後の検査があり、今のところ OK でしたが、あまり調子に乗らないようにお酒は気をつけたいと思います。



今月が記念月の左から森会長、鈴木豊成会員、山下会員、蓬田会員

【会長報告】 森 茂則 会長

1. ガバナー事務所より次のものが届いています。
 - ①2016-17年度年次報告書
 - ②献血キャンペーンのポスター
 - ③ロータリー情報冊子の案内
 - ④2017-18年度 地区大会の記録
2. クラブ事務局員連絡会の案内
 6月4日(月)16:00-17:30 メモワールプラザソシア
3. ポリオ寄付の報告
 1名50ドル×今年度始めの人数30名で¥156,000を寄付
4. 県立麻生養護学校後援会より
 平成30年度 定期総会の案内
 5月15日(火)10:00-11:30 麻生養護学校 会議室
5. 「ふるさと川崎まちづくり運動」総会・講演会の案内
 6月23日(土)9:20～ 川崎市産業振興会館1階
 9月28日(木)18:30～区役所

【幹事報告】 森 啓伊 幹事

★例会変更 ◎川崎マリーンRC

◆6/14～15 期末一泊移動例会 エクシブ初島クラブ

第1234回例会	5月20日(日) 移動例会(会長・幹事ご苦労様会)	箱根湯本『ホテル南風荘』
第1235回例会	5月25日(金)	百合ヶ丘カントリー倶楽部
第1236回例会	6月1日(金) 理事役員会⑫・会長の日	ホテルモリノ

【例会日】 第1・2 金曜日 12:30～13:30 【例会場】 ホテルモリノ 新百合丘 7F TEL: 044-951-1322

【例会日】 第3・4 金曜日 12:30～13:30 【例会場】 百合ヶ丘カントリー倶楽部 2F TEL: 044-951-1322

第5・金曜日 休会または移動例会または百合ヶ丘カントリー倶楽部 2F 12:30～13:30 TEL: 044-951-1322

【出席委員会】 杉山 遼 委員長

例会数	会員	出席	欠席	修正	出席率
1233 回	32	30	2		94%
1232 回	31	27	4	3	97%
1231 回	31	24	7	5	94%

【ニコニコ委員会】 碓井 美枝子 委員長

	第 1233 回(件数)	合 計
ニコニコ	27 件	¥27,000

●お客様

◇坂井規久子様（川崎百合丘RC）

【今月の当クラブ40周年記念イベントには、多数のご参加をいただけたとのこと。クラブ一同、皆様のお越しを楽しみにしてお待ちしております。】

●会員

◇円城寺広明会員【おかげさまでオープンまで行きました。】

◇大野勉会員【会長・幹事さんもう一息です】

◇親松明会員【先日は、家内にお花ありがとうございました。】

◇梶俊夫会員

【本日、間税会の総会です。JA生田支店です。参加してね。】

◇志村幸男会員

【本日は、佐々木様卓話宜しくお願いします。】

◇鈴木眞一会員

【あさおポップコーラスよろしくお願いいいたします。

チケットは鈴木眞一までご連絡ください。】

◇森茂則会長 ◇森啓伊幹事 ◇臼井勉会員

◇碓井美枝子会員 ◇宇津木茂夫会員 ◇梅澤馨会員

◇川崎航会員 ◇木村良三会員 ◇黒木啓太郎会員

◇佐々木範行会員◇佐藤達弥会員 ◇杉山遼会員

◇鈴木昭弘会員 ◇鈴木憲治会員 ◇鈴木豊茂会員

◇長瀬敏之会員 ◇中山隆弘会員 ◇花輪孝一会員

◇門間亜砂子会員 ◇山下俊也会員

以上、ご協力ありがとうございました。

【ロータリー財団委員会】 鈴木 眞一 委員長

	第 1233 回(件数)	合 計
R . 財 団	5 件	¥16,800

◇梶俊夫会員 ◇佐々木範行会員 ◇鈴木憲治会員

◇鈴木眞一会員 ◇山下俊也会員

ご協力有難うございました。

【米山記念奨学委員会】 梶 俊夫 委員長

	1233 回（件数）	合計
米山記念奨学	7 件	¥46,000

◇鈴木昭弘会員【佐々木様、本日卓話宜しくお願いします。】

◇鈴木憲治会員【13日米山梅吉記念館に行き、当地区の奨学生に卓話をします。】

◇梶俊夫会員 ◇佐々木範行会員 ◇鈴木眞一会員

◇鈴木豊茂会員 ◇山下俊也会員

ご協力有難うございました。

【卓話】 医療法人社団総生会 地域医療支援部 部長

佐々木英也 様



ご紹介する鈴木昭弘会員

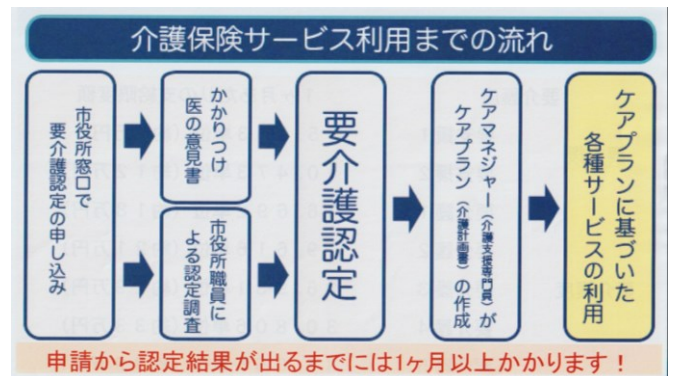
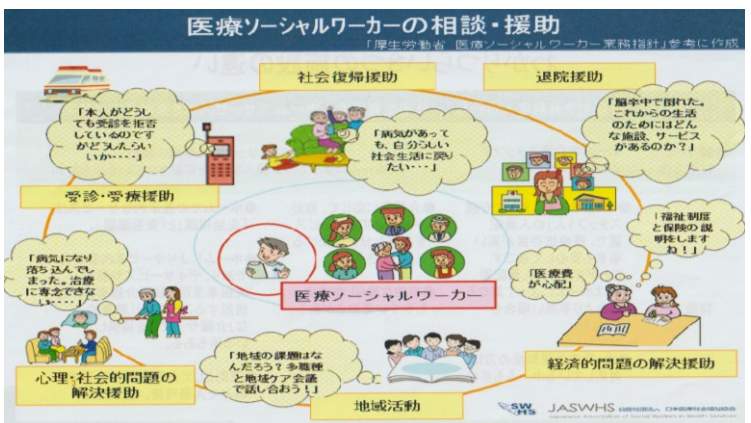
〈佐々木様プロフィール〉鈴木昭弘会員

1971 年生まれの 46 歳、北海道出身。平成 14 年転職で横浜勤務となる。平成 16 年 11 月より総生会に入職、現在に至る。

「地域医療支援について」

介護施設の特徴と違いについて分かりやすくまとめました。

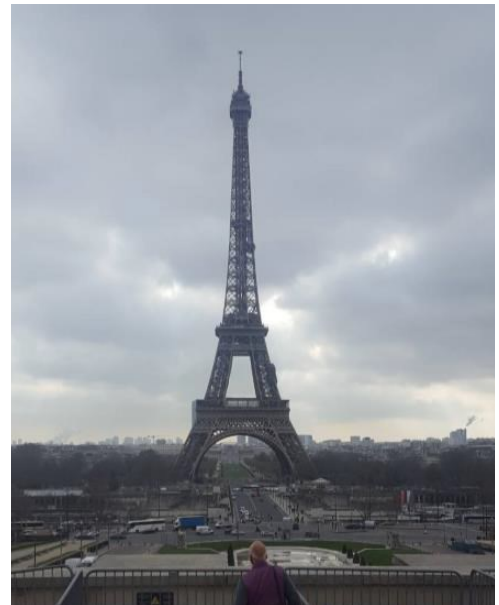
わかりづらい3つの施設の違い			
	介護付き有料老人ホーム	住宅型有料老人ホーム	サービス付き高齢者向け住宅
介護サービス 利用方法	ホームの介護スタッフが24時間体制で提供。	近郊の介護サービスと個別に契約 (※ホームによっては介護スタッフを常駐させている所もある)	
特徴	●「入居者3人に対して介護スタッフ1人」の人員配置で、医療依存度が高い場合も安心して過ごすことができる。(人員配置率はホームによって異なるためより手厚い場合もあり。) ●中・重度の認知症の方に対応しているホームも多い。	●介護度に応じて、自分が必要とするサービスに必要な分だけ受けることができる。 ●自由な暮らしを実現しやすい柔軟さがある。	●ホームでの基本的なサービスは「生活相談」と「安否確認」。 ●ホームによりサービス内容が様々であり、デイサービスや居宅支援事業所と訪問介護事業所を併設することにより「終身的な」介護サービスを提供している所もある。 ●原則として入居金がなく、敷金のみで入居可能。(賃貸住宅)



Guten Tag! ドイツ派遣の竹尾光です。

今回は先月にも述べていたとおりヨーロッパツアーを中心に報告させていただきます。

ヨーロッパツアーは先月 19 日から始まり、今月 10 日まで約三週間の長期ツアーでした。参加者は私達の地区の派遣生だけではなく、その他の地区からの派遣生も共に行動をし、その人数は約 60 人にも及びました。このツアーではドイツのハイデルベルクから始まり、ルクセンブルク、パリ、アヴィニオン、バルセロナ、モナコ、ピサ、ローマ、ウィーン、ブダペスト、プラハを周り、10日の朝フランクフルトに到着しました。ツアーの3週間、移動はバスのみで、バスの中で夜を越す事もあり、ホスト家に帰ったあとは丸一日眠り続けたほど疲れがたまっていました。



それぞれの国にはそれぞれ固有の特色があった反面、やはり同じヨーロッパということで、似ているなど思う点も多くありました。私が訪れた国々や都市の類似点、そして私の印象に残ったいくつかの都市について、その他の都市と異なる点や感じたことを書いていきたいと思います。

まず似ている点として、

- ・レストランはイタリアンが多い(子供が入りやすいところは特に)
- ・建物や教会
- ・観光客に向けたサービス

が挙げられると私は感じました。一つずつ詳しく説明すると、

1つ目はそのままなのですが、今回のツアーでは自由時間が多く、昼食も自分たちで食べる事が出来ましたが、私たちの昼食は基本イタリア料理でした。もちろんイタリアではイタリアンですが、その他の地域でもイタリアンを食べることが多かったです。イタリアンレストランはほぼどの国、都市にもあり、価格も比

施設の中で一番人気の高いのは、「特別養護老人ホーム」で、介護度3以上で利用でき、利用料は個室で 18 万円以上、4人部屋で 10～12 万円位ですが、待機者は川崎市でも 20 万人と言われています。入居までのつなぎとしてご相談にのっております。

介護保険サービスの支給限度額		
要介護度	1ヶ月あたりの支給限度額	
要支援	要支援 1	5,003単位 (約6万円)
	要支援 2	10,473単位 (約12万円)
	要介護 1	16,692単位 (約18万円)
	要介護 2	19,616単位 (約21万円)
要介護度	要介護 3	26,931単位 (約29万円)
	要介護 4	30,806単位 (約33万円)
	要介護 5	36,065単位 (約39万円)

病院の方の費用として、次の表があります。

自己負担限度額・高額療養費について					
高額な医療費を支払ったときは高額療養費で払い戻しを受けられます。					
高額療養費とは、同一月(1日から月末まで)にかかった医療費の自己負担額が高額になった場合、一定の金額(自己負担限度額)を超えた分が、あとで払い戻される制度です。					
70歳以上の方は、区分Ⅰ・Ⅱに該当する方のみ、「健康保険限度額適用・標準負担額減額認定証」が発行され、保険医療機関の窓口で低所得者の自己負担限度額まで軽減されます。70歳未満の方で、医療費が高額になることが事前にわかっている場合には、「限度額適用認定証」を提示する方法が便利です。					
70歳以上の方					
所得区分	現役並み所得者	一般所得者	区分Ⅱ	区分Ⅰ	
医療費自己負担額	80,100円+(総医療費-267,000円)×1% (44,400円)	57,600円	24,600円	15,000円	
食事負担額	42,780円	42,780円	19,530円	9,300円	
注:()内の金額は、過去12カ月に外来と入院を合わせたもの(世帯単位)の自己負担限度額を超えた支給を3回以上受けた場合、その月が4回目以降の給付の時に適用。					
70歳未満の方					
所得区分	区分ア	区分イ	区分ウ	区分エ	区分オ
医療費自己負担額	252,600円+(総医療費-842,000円)×1%	167,400円+(総医療費-558,000円)×1%	80,100円+(総医療費-267,000円)×1%	57,600円	35,400円
食事負担額	42,780円	42,780円	42,780円	42,780円	19,530円
* 国民健康保険、後期高齢者医療保険の方は、各市区町村の国保課でお手続きください。					
* 協会けんぽ、健康保険組合、共済組合、土建国保の方は、職場担当者へお問い合わせの上、お手続きください。					
* 医療療養病棟に入院中の65歳以上の方は、上記とは別に11,470円/月額の光熱水費がかかることがあります。					

佐々木様 有難うございました。



【次年度幹事報告】 青戸 慶太 次年度幹事

◆次年度の各委員長方針・実施計画を提出して頂き、有難うございました。これをまとめていきたいと思います。

◆5/20～5/21 の会長幹事ご苦労様会の件

当日は 16:00 頃ホテル南風荘のフロントで待ち合わせです。

例会は 18:00 点鐘、18:30 からご苦労様会の予定です。

翌日は朝食後、各自解散となります。よろしくお願い致します。

【四つのテスト】 鈴木 眞一 会員

【点 鐘】 森 茂則 会長

【会報委員会】 文責：木村 良三 委員長

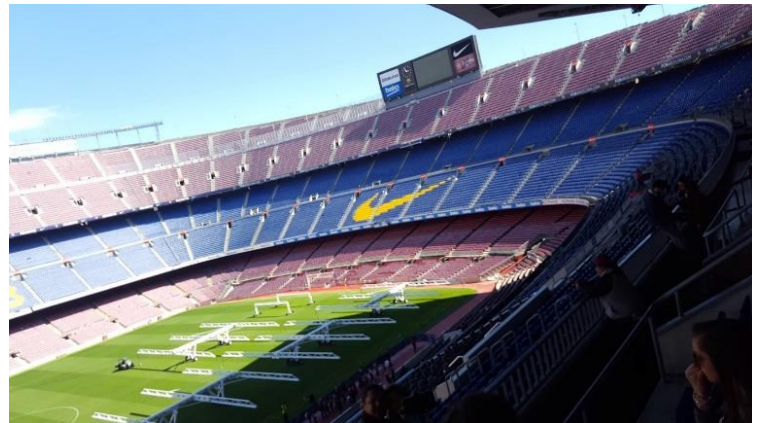
較的安く、お店にも入りやすかったです。これはドイツでも感じたことですが、ヨーロッパではあまりその国の料理を専門としたレストランは多くなく、特に子供の入りやすいリーズナブルなものに限るとほとんどありません。日本でもそうですが、外食する場合、家庭で作れるその国の料理よりも、他の国の料理の方が食べたいという気持ちが多いのかなと思います。ヨーロッパには日本食や中国料理のお店もありますが、それでもイタリアンの多さは圧倒的です。その理由の一つとして、イタリアンを作る料理人が陸続きのヨーロッパではお店を出しやすいという点が挙げられるのかな、と感じました。

2つ目の建物や教会についてですが、ヨーロッパの家の造りや教会の造りはとても似ています。どの地域も一軒家やなどの背の低い建物が多く、ビルなどはあまり多くありません。また少し都市から離れるだけで草原に囲まれるという点でも似ています。日本に比べて人口密度の少ないヨーロッパなので、日本のように多くの建物は必要なく、反面、縁が多いのかなと思います。ドイツのベルリンやフランクフルトなどはビルがその他の地域に比べると多いですが、これは第二次世界大戦や冷戦による影響で建物が壊され、立て直しによって近代の構造になったと聞きました。これは裏を返せば、それ以外の地域は昔からのヨーロッパの様式を今も尚、続けているということです。このことは教会についても言え、今回色々な都市で、大聖堂と呼ばれるような大きな教会に入りましたが、基本的には造りは同じでした。当たり前のことかもしれませんが、これだけ同じ様な教会が造られているということはそれだけ昔からキリスト教がヨーロッパ全体に広がっていたということです。建物の造りが似ているという点からも、今は多くの国に分かれているヨーロッパももともとは大きな国の支配下にあり、技術がその全体に伝わっていたのだということを再確認しました。

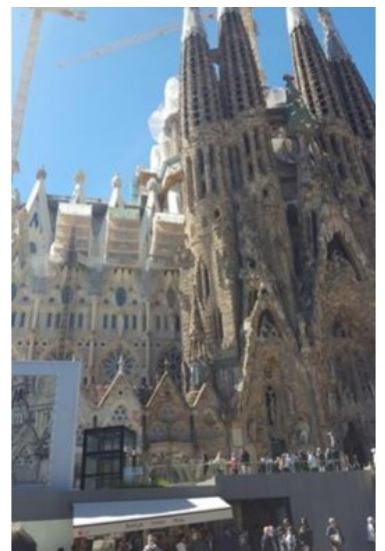


3つ目は観光客に向けたサービスです。私たちが周ったところは世界的にも有名な観光地が多かった、ということもありますが、そういった場所のほとんどが観光客のためにつくられているなどと思う事が多くありました。何故そのように感じたかというと、ヨーロッパの都市部には必ずといっていいほどお上産屋さん（お土産屋）が大量にあります。その上地のマグネットやキーホルダーなどが大量に並び、それ以外にもその地域の有名なものがたくさん

売っています。もちろん日本でも京都などではお上産屋さんが多いですが、私はそれよりも多かったように感じました。またお店のメニューや電車などの表記などもその国の言葉や英語だけではなく、スペイン語やドイツ語、中国語さらに日本語があることも多く、観光客のために街が形成されているように感じました。そのため、観光客の数も当然多く、特に多かったのは中国人や韓国人などのアジア人でした。（日本人も見かけましたが、比較的少なかったと思います）次に、他の国や都市と異なる特徴を持つと感じた国・都市についてですが、特に私の印象に残ったのはバルセロナ、イタリア、ブダペストでした。まずバルセロナで印象的だったのは、FC バルセロナです。



バルセロナといえばこれという人もいるくらい有名なサッカーチームですが、私はそのバルセロナの本拠地カンプノウ・スタジアムを訪れ、その近くにあるミュージアムに行ってきました。サッカーにそれほど興味の無い私でもよく知っているメッシやロナウジーニョの展示をみたり、FC バルセロナの歴史に触れることができとてもよかったですし、日本に帰ったら友人に自慢しようと思います。また、バルセロナといえばFC バルセロナの他に必ずといっていいほど名前が挙がるサクラダファミリアにも行きました。外からしか見ることが出来ませんでした。他にはない壮大さがありました。



またバルセロナは他に比べると比較的イタリアンは少なくスペイン料理が多かったです。私はパエリアを食べましたが、



ヨーロッパツアーで食べたものの中で一番好きで、忘れられない味になりました。

次にイタリアで感じたことは、とにかく食事が

凄いということです。先ほどからヨーロッパではイタリアが多いという話をしましたが、やはり本場のイタリアでは値段も安く、美味しさも桁違いでした。ピザは1切れから買えて、1切れ大体1Euroでした。1Euroは大体100円強なのでそれほど安くはないと思う方もいるかもしれませんが、大きさが日本のピザ1切れとは異なり、1切れ食ただけでもお腹いっぱいになります。また味に関しては、特にパスタでその違いを感じました。イタリアで食べるパスタは程よくパスタの芯が残っていて、食べごたえもありとても美味しかったです。

またトスカーナ州サンジミニャーノでは世界一美味しいアイス屋さん足運びました。

アイスはとても濃厚で、世界一と言われても納得出来るものでした。ピサの斜塔やローマのコロッセオも訪れましたが、イタリアではやはり食事が印象的で、イタリアで生活したら、食事が美味しすぎてすぐに太ってしまいそうでした。



最後に印象に残ったのはブダペストです。ブダペストでの一番の印象は夜景の美しさです。その他にもウィーンやプラハ、パリなどもとても綺麗でしたが、このブダペストは夜になると橋などあたり1面がライトアップされ、とても幻想的でした。また、ブダペストにはブダペストにしかないお土産がありました。私は母に頼まれ、それを知りましたが、花の刺繍を施した可愛い雑貨です。高価なものもありますが、マグネットになったものなどは手ごろな価格で、たくさん買ってしまいました。また、ブダペストは温泉も有名で行きたいと思ったのですが、今回は行くことが出来なかったのが、行く機会があれば今度は行ってみたいと思いました。

今回のヨーロッパツアーで最も感じたことは、ヨーロッパというのはやはり陸続きであり、もともとは大きな一つの国だったんだということです。共通点が非常に多く、その国その国の個性の裏にはそういった基盤があるように感じました。陸続きであるからこそ、それぞれがそれぞれに影響を与え合い、成長してきたのだと思います。日本は島国ということもあり、日本のシステムに似ている国は少ないと思います。だからこそ、多く国の人たちが日本に興味を持ってくれていると思いますが、その反面、日本人が海外に目を向けることは他の国の人たちに比べて少ないということをこの派遣を通して感じています。多くの日本人は一生を日本で過ごし、海外に行くのは観光くらい外国人と関わる機会は多くないのが現状だと思います。



私も派遣させて頂くこと事が決まるまでは、海外に目を向けるという機会すら少なかったと思います。この1年間でドイツの事を、ヨーロッパツアーではその他のヨーロッパのことも少しではありますが、触れることや考えることができました。このような機会を与えて下さったことにとても感謝しています。また今回は60人という人数で行ったことで、ヨーロッパの人たち以外にも多くの人種の派遣生たちと関わる機会がありました。3週間共に生活したことにより、その人たちの良さも悪さも少し見えた気がします。私としてはラテンアメリカ系のノリやパーティーなどは得意じゃないなと思うことも多くありますが、フレンドリーな点等いい所も沢山あります。日本人の感覚からすると、それは周りのこと考えているのかなど疑問に思うこともしばしばありますが、それはその国の特徴だと思いますし、生まれた環境によって人はやはり変わるんだと感じています。

ヨーロッパツアーも終わり、ホストファミリーも代わりました。ヨーロッパツアー後はすぐに普段通りの生活に戻りました。サマータイムも始まり、夜の9時近くまで昼のような明るさが続きます。一ヶ月前までコートが必要だった寒さも今となっては半袖で汗をかく日も増えました。派遣生活も残り3ヶ月を切り、時が過ぎるのは早いと感じています。「まだ」残り何ヶ月と心の中で思っていたものが、「もう」残り3ヶ月となりました。残りの時間で自分に何が出来るとかを考えて、生活して行きたいと思っています。

